

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 19 日現在

機関番号：34414

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26284065

研究課題名(和文) 多面的把握に基づく新義真言宗系聖教の解明と公開促進を果たす研究

研究課題名(英文) Research to fulfill the elucidation and publication promotion of the Shinriity Shingon sect pursuant based on multifaceted grasp

研究代表者

宇都宮 啓吾 (Utsunomiya, Keigo)

大阪大谷大学・文学部・教授

研究者番号：40257902

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 10,100,000円

研究成果の概要(和文)：智積院新文庫聖教「いろは函」の調査を進め、「ゆ函」までの調査を完了した。また、調書のデータ入力も進行中である。デジタル撮影、データ化、デジタル機器による特殊撮影も行なった。また、聖教調査に並行して聖教のデジタルアーカイブ化等も進め、その一つとして、凸版印刷との連携に基づき、古写本のデジタルアーカイブ化を進めた。この成果については、29年度開催のシンポジウムで公開した。また、成果公開として、論文・学会発表等を行ない、招聘発表や学会賞の受賞も果たした。その他、古写本の調査として、智積院関連寺院や京都府下・滋賀県下の古社寺、並びに諸地域における予備調査と撮影等も行なった。

研究成果の概要(英文)：We proceeded with the investigation of the Chisyakuin Temple's religion and completed the investigation up to the "Yu" box. Also, data entry of the record is ongoing. Digital shooting, data conversion, special shooting with digital equipment was also done. In parallel with the investigation of the religion, we also promoted the creation of digital archives of the religion. As one of them, based on cooperation with Toppan Printing Co., Ltd., we promoted digital archiving of ancient manuscripts. This result was released at the symposium held in 2017. In addition, as a result publication, he gave papers, academic presentations, etc., and also received invitation announcements and academic awards. In addition, as a survey of ancient manuscripts, we also conducted preliminary surveys and photographs at the related temples of Chisyakuin Temple, shrines and temples under Kyoto Prefecture, Shiga Prefecture, and other areas.

研究分野：日本語学

キーワード：智積院聖教 根来寺聖教 家原寺聖教 訓点資料 デジタルアーカイブス

1. 研究開始当初の背景

前科研(「根来寺聖教の基礎的研究」)において、根来寺聖教や新義真言宗系聖教として貴重な新出聖教群を真言宗智山派総本山智積院に確認し、その多面的把握によって、諸領域から招聘発表や学会賞受賞等の評価を得ることが叶った。この成果から、智積院御当局より、聖教目録刊行の決定や聖教公開の指針の策定、また、今後の聖教調査とその成果公開・シンポジウム開催について、全面的協力を得た。

2. 研究の目的

従来聖教とは別系統の新義真言宗系聖教の体系的把握・解明を目指し、智積院新文庫聖教の「いろは函」25 函に関して、順次、詳細目録の作成を行ない、智積院・新義真言宗系聖教の国語学的な分析・解明、また、言語環境の解明を目指した諸領域による多面的把握と、聖教調査における全体的公開・利用促進の為の技術開発を行なう。

3. 研究の方法

智積院内(智山書庫)において整理・所在確認と詳細な書誌データの収集を目的とした調査の作成を行ない、合わせて重点聖教の洗い出しを行なう。書誌的調査と内容に関する調査を実施し、それぞれを調査に記入することとする。調査対象の聖教は、必要に応じてデジタルカメラでの撮影を行ない、パソコンに入力し、データベース化する。

調査作成、デジタル撮影、データ化については、従来より蓄積した画像処理・画像データベースの手法を用いる。そのため、デジタル機器による特殊撮影も行なっていく。その方策については、文化財修復の関連業者との意見交換等も行なう。また、聖教調査に並行してデータ班による聖教のデジタルアーカイブ化等も企業との連携を踏まえて進める。

4. 研究成果

智積院新文庫聖教「いろは函」の調査を進め、「ゆ函」までの調査を完了した。また、調査のデータ入力は進行中である。デジタル撮影、データ化、デジタル機器による特殊撮影も行った。また、聖教調査に並行して聖教のデジタルアーカイブ化等も進め、その一つとして、凸版印刷との連携に基づき、古写本のデジタルアーカイブ化を進めた。この成果については、29 年度開催のシンポジウムで公開した。

また、成果公開として、論文・学会発表等を行ない、招聘発表や学会賞の受賞も果たした。例えば、以下の通り。1)日本密教学会密教学芸賞(苦米地誠一)2)FIT 船井ベストメンバー賞(村川猛彦・宇都宮啓吾他「訓点資料を対象とした翻刻支援システムの構築および評価」)3)三島海雲記念財団学術研究奨励金(分担者:大谷由香「宋代戒律思想における日宋交流からの影響に関する研究」)4)智山勸学会奨励賞(協力者:駒井信勝)5)智積院聖教

について智山派推薦での日本密教学会発表(宇都宮)6)第49回造本装幀コンクール日本書籍出版協会理事長賞(協力者:赤尾栄慶「国宝 鳥獣戯画と高山寺」展公式図録)担当)等

その他、古写本の調査として、智積院関連寺院や京都府下・滋賀県下の古社寺、並びに諸地域における予備調査と撮影等をも行なった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計30件)

【2016】

1)「智積院聖教における「東山」関係資料について 智積院蔵『醍醐祖師聞書』を手懸かりとして」宇都宮啓吾『智山学報』65 有453-472 2016

2)「訓点資料を対象とした翻刻システムの構築および評価」村川猛、宇都宮啓吾他『第15回情報科学技術フォーラム(FIT2016)』第4分冊 有7-14 2016

https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=1&cad=rja&uact=8&ved=0ahUKewj4kJbM2d_bAhWjCqYKHESDXQQFggoMAA&url=https%3A%2F%2Fwww.ipsj.or.jp%2Faward%2F9faeag0000004eyo-att%2Fa1475477901131.pdf&usq=A0vVawOHTzq5A8EQUE0kbqT-0SPe

3)「講式の書体と場をめぐって」高橋秀城『表現学』2 21-27 無 2016

4)「頼諭の夢 詫磨為遠筆の文殊像をめぐって」高橋秀城『絵解きと伝承そして文学』267-281 無 2016

5)「坊津一乗院における 中央 と 地方」高橋秀城『調査研究報告』36(国文学研究資料館) 無 15-23 2016

6)「智積院第三十七世大幢信海伝小考」小笠原弘道『智山学報』65 243-258 無 2016

7)「慧友僧護について 高山寺所蔵典籍文書に基づく年譜資料」小宮俊海『現代密教』27 109-139 無 2016

【2015】

8)「智積院蔵『醍醐祖師聞書』について 意教上人頼賢とその周辺を巡って」宇都宮啓吾『智山学報』64 25-37 無 2015

https://www.jstage.jst.go.jp/article/chisangakuho/64/0/64_25/_article/-char/ja/

9)「智積院新文庫聖教について その成立と伝来を巡って」宇都宮啓吾『説話文学研究』50 45-66 無 2015

10)「訓点資料を対象としたデジタルアーカイブシステムの構築」村川猛、宇都宮啓吾他『情報・システム講演論文集』(2015年電子情報通信学会総合大会) p.44, D-4-13 有2015

https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=2&ved=0ahUKEwiT5Nqp2d_bAhXEGZQKHZ4ZB9oQFggrMAE&url=http%3A%2F%2Fipsj.ixsq.nii.ac.jp%2Ffej%2Findex.php%3Faction%3Dpages_view_main%26active_action%3Drepository_action_common_download%26item_id%3D146588%26item_no%3D1%26attribute_id%3D1%26file_no%3D1%26page_id%3D13%26block_id%3D8&usg=A0vVaw2Bn91ZC5TCZtqW6BHaTUo8

11) 「海住山寺聖教について」 苜米地誠一 『智山学報』 63 239-256 無 2015

https://www.jstage.jst.go.jp/article/chisangakuho/63/0/63_KJ00009351677/_article/-char/ja/

12) 「隆聖僧都について」 苜米地誠一 『小澤憲珠名誉教授頌寿記念論集 大乘仏教と浄土教』 97-113 無 2015

13) 「**𠄎**」「**𠄎**」/「**𠄎**」/「**𠄎**」 「**強**」の「**𠄎**」(「**𠄎**」=「**革**」+「**刃**」の旧字体) 山本秀人 『国語文字史の研究』 15 85-105 無 2015

14) 「中古の辞書一色葉字類抄一」 山本真吾 『悠久』 139 68-78 無 2015

15) 「**ささふ**(支)」から「**ささへまうす**(支申)へ一訓点語から文書用語への史的展開一」 山本真吾 『訓点語と訓点資料』 135 1-18 有 2015

16) 「鎌倉時代口語に関する一考察一延慶本平家物語により証明可能性をめぐる一」 山本真吾 『話し言葉と書き言葉の接点』 187-203 無 2015

17) 「明恵門下における教学と実践の継承」 野呂靖 『日本仏教学会報』 60 25-37 有 2015

18) 「明恵門下における教学と実践の継承」 野呂靖 『日本仏教学会年報』 60 25-37 有 2015

https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=1&cad=rja&uact=8&ved=0ahUKEwj-y7mF2t_bAhXNqpQKHwJJC68QFggoMAA&url=http%3A%2F%2Fnbra.jp%2Ffiles%2Fpdf%2F2013%2F2013_03-03.pdf&usg=A0vVaw3byl6kcbx2r02fWmANYD97

19) 「普一国師志玉の華嚴学」 『五教章視聴記』を中心に」 野呂靖 『印度学仏教学研究』 64(2) 72-78 有 2015

20) 「南都の受戒と安然の「共受」「別受」」 大谷由香 『智山学報』 64 151-167 無 2015

https://doi.org/10.18963/chisangakuho.64.0_151

21) 「日本律宗からみた「四分律伝持の曇無徳部」成立時期」 大谷由香 『印度学仏教学研究』 64-2 35-40 有 2015

22) 「根来寺の「信仰」と「聖教」」 パネリストの報告を受けて 高橋秀城 『説話文学研究』 50 80-82 無 2015

【2014】

23) 「智積院蔵『二障義』について その伝来を中心として」 宇都宮啓吾 『智山学報』

63 225-237 無 2014

https://doi.org/10.18963/chisangakuho.63.0_225

24) 「十一世紀における天台宗山門派皇慶門流のヲコト点について」 宇都宮啓吾 『訓点語と訓点資料』 132 1-15 有 2014

25) 「隆海一門(家隆流)と高野山大伝法院」 苜米地誠一 『大正大学大学院研究論集』 38 1-30 無 2014

https://tais.repo.nii.ac.jp/index.php?active_action=repository_view_main_item_detail&page_id=13&block_id=69&item_id=421&item_no=1

26) 「仮名書き願文の表記と文体一『鎌倉遺文』所収願文を中心に一」 山本真吾 『日本文学』 63 2-11 有 2014

27) 「日本語史研究の示準文献をめぐる一考察一『今昔物語集』を例として一」 山本真吾 『国文学踏査』 26 217-228 有 2014

28) 「高山寺系華嚴における海東仏教の受容」 野呂靖 『忘れられた韓国の仏教思想家 金剛大学・東国大学共同国際学術大会プロシーディングス』 45-56 無 2014

29) 「新出資料『南山北義見聞私記』発見の意義」 西谷功 『佛教学研究』 70 73-108 有 2014

https://library.ryukoku.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=v3search_view_main_init&block_id=296&op_param=bibid%3D%2554%2544%2530%2530%2534%2535%2535%2530%2531%2537&search_mode=detail&lang=japanese#catdbi_296-TD00455017

30) 「蓮如上人周辺と泉涌寺系浄土教団「見蓮上人門徒」について」 大谷由香 『真宗研究』 58 201-222 有 2014

〔学会発表〕(計 26 件)

【2016】

1) 「和泉国家原寺聖教の形成に関する一考察 智積院聖教・金剛寺聖教を手懸かりに」 宇都宮啓吾 日本密教学会第 49 回学術大会(2016 年 10 月 28 日 高野山金剛峯寺)

2) 「写本として見た坂東本『教行信証』」 宇都宮啓吾 浄土真宗本願寺派総合研究所シンポジウム(招待講演)(2017 年 03 月 15 日 龍谷大学響都ホール)

3) 「六巻本《略出念誦法》與《金剛頂經義訣》」 苜米地誠一 第三回中國密教國際學術検討會(招待講演)(国際学会)(2016 年 08 月 19 日 中国雲南省大理市劍川県佳利大酒店)

4) 「西行・隆聖父子と大伝法院」 苜米地誠一 第 8 回西行学会(招待講演)(2016 年 08 月 27 日 二松学舎大学)

5) 「中日文体比較の方法一敦煌願文を資料として」 山本真吾 シンポジウム「日本語教育と日本語学」(招待講演)(国際学会)(2016 年 09 月 07 日 集美大学(中華人民共和国・福建省))

6) 「寺院経蔵の聖教類と文学作品をつなぐ言葉と文体」 山本真吾 仏教文学会(招待講

演)(2016年09月10日 大正大学)
7)「明恵と高山寺の教学 宋版『華嚴五教章』の受容をめぐる」野呂靖 龍谷大学アジア仏教文化研究センター公開シンポジウム「明恵と高山寺」(招待講演)(2016年06月25日)(龍谷大学アジア仏教文化研究センター)
8)「小さな研究室と、人文科学とコンピュータ」村川猛彦 情報処理学会 第113回人文科学とコンピュータ研究会(2017年02月04日 愛知工業大学)

【2015】

9)「智積院蔵『醍醐祖師聞書』続考 「東山」関連資料についての一視点」宇都宮啓吾 平成27年度智山教学大会(2015年05月23日 別院真福寺(東京都港区))
10)「智積院聖教における「東山」関係資料について 智積院蔵『醍醐祖師聞書』を手懸かりとして」宇都宮啓吾 日本語の歴史的典籍国際研究集会(招待講演)(国際学会)(2015年08月01日 国文学研究資料館)
11)「舍利と往生(パネル発表「中世の密教儀礼と舍利信仰」)」苜米地誠二 日本印度学仏教学会 第66回学術大会(招待講演)(2015年09月20日 高野山大学)
12)「漢訳大蔵経の歴史」赤尾栄慶 第一〇〇回記念大蔵会 仏法東漸 仏教の典籍と美術(招待講演)(2015年08月29日 京都国立博物館)
13)「通天の帯の献上説話 『今昔物語集』巻二十六第12話をめぐって」横田隆志 国際日本文化研究センター共同研究会「説話文学と歴史史料の間に」(2015年07月05日 国際日本文化研究センター)
14)「中世華嚴教学における成仏論 善財童子・龍女・地獄天子をめぐる」野呂靖 第一四回東大寺要録研究会(招待講演)(2015年06月21日 東大寺総合文化研究センター)
15)「Constructing Performance Comparison Environment of Search Engines, Proceedings of Fourth International Conference on Advances in Computing, Communication and Information Technology」村川猛彦 Fourth International Conference on Advances in Computing, Communication and Information Technology CCIT-2016(国際学会)(2016年03月17日~2016年03月18日 Birmingham, United Kingdom)
16)「訓点資料における翻刻支援システムの構築」田中勝, 村川猛彦, 宇都宮啓吾 人文科学とコンピュータシンポジウム(2016年02月06日 立命館大阪梅田キャンパス)

【2014】

17)「智積院蔵『醍醐祖師聞書』について 意教上人頼賢とその周辺を巡って」宇都

宮啓吾 平成26年度智山教学大会(2014年05月24日 川崎大師教学研究所)
18)「古写経と訓点」宇都宮啓吾 International Course on Conservation of Japanese Paper(招待講演)(2014年09月09日 東京文化財研究所)
19)「明恵の『探玄記』講義について」野呂靖 平成26年度智山教学大会(2014年05月24日 川崎大師教学研究所)
20)「普一国師志玉の華嚴学 『五教章視聴記』を中心に」野呂靖 日本印度学仏教学会第65回大会(2014年08月30日 武蔵野大学)
21)「日本密教における舍利と宝珠」苜米地誠二 法門寺仏舎利学術検討会(招待講演)(2014年04月20日 中国陝西省扶風県・法門寺)
22)「願文の文体的変容—敦煌願文の調査から—」山本真吾 国際シンポジウム「言語交渉からみる日本語の諸相」(招待講演)(2014年08月30日 韓国・高麗大学)
23)「自言語による漢文文献の訓読」山本真吾 日本語学会(2014年10月24日 北海道大学)
24)「訓点資料を対象としたデジタルアーカイブシステムの構築」田中勝, 村川猛彦, 宇都宮啓吾 2015年電子情報通信学会総大会(2015年02月07日 立命館大学)
25)「日本語史研究資料としての『明恵上人夢記』の可能性」山本真吾 国際研究集会「夢と表象—その国際的・学術的展開の可能性」(招待講演)(2015年03月03日 国際日本文化研究センター)
26)「「もてなし」の語義 中世の用例を中心に」横田隆志 銘傳大学2015国際学術研討会(招待講演)(2015年03月13日 台湾・銘傳大学)

〔図書〕(計4件)

【2016】

1)『中世後期泉涌寺の研究』大谷由香 法蔵館 385頁 2017

【2015】

2)『坂東本『顕浄土真実教行証文類』角点の研究』赤尾栄慶, 宇都宮啓吾 東本願寺出版 534頁
3)『明恵上人夢記 訳注』奥田勳他編(野呂靖・小宮俊海 執筆) 勉誠出版 562頁 2015

【2014】

4)『醍醐寺蔵宋版一切経目録 第一冊』総本山醍醐寺編(解題(音義)担当 山本秀人) 770頁 汲古書院 2014

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等
顯雅房

<http://www.orcaland.gr.jp/~utsunomiya/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

宇都宮啓吾 (Utsunomiya, Keigo)
大阪大谷大学・文学部・教授
研究者番号：40257902

(2) 研究分担者

苔米地誠一 (Tomabechi, Seiichi)
大正大学・仏教学部・教授
研究者番号：00340456

赤尾栄慶 (Akao, Eikei)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・上席研究員
研究者番号：20175764

山本秀人 (Yamamoto, Hideto)
高知大学・人文社会・教育科学系・教授
研究者番号：30200835

山本真吾 (Yamamoto, Shingo)
白百合女子大学・文学部・教授
研究者番号：70210531

羽田聡 (Hada, Satoshi)
独立行政法人国立文化財機構京都国立
博物館・学芸部・研究員
研究者番号：30342968

村川猛彦 (Murakawa, Takehiko)
和歌山大学・システム工学部・講師
研究者番号：90304154

野呂靖 (Noro, Yasushi)
龍谷大学・文学部・講師

研究者番号：70619220

横田隆志 (Yokota, Takashi)
大阪大谷大学・文学部・教授
研究者番号：90403211

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

寺島典人 (Terashima, Norihito)
大津市歴史博物館学芸員
鯨井清隆 (Kujirai, Kiyotaka)
大津市歴史博物館学芸員
西谷功 (Nishitani, Isao)
泉涌寺学芸員
大谷由香 (Ohtani, Yuka)
日本学術振興会特別研究員
小笠原弘道 (Ogasawara, Koudou)
智山伝法院研究員
高橋秀城 (Takahashi, Syujo)
成田山仏教研究所研究員
石川隆教 (Ishikawa, Ryukyo)
智山派勸修院住職
橋浦寛能 (Hashiura, Kanno)
智山伝法院研究員
田口秀明 (Taguchi, Syumei)
智山派勝蔵院住職
能島覚 (Nojima, satoru)
本願寺派満福寺住職
小宮俊海 (Komiya, Syunkai)
智山伝法院研究員
駒井信勝 (Komai, Shinsyo)
大正大学大学院
別所弘淳 (Bessyo, Kojun)
大正大学大学院